



意志ある寄付で ちばの未来をつくる

公益財団法人
ちばのWA地域づくり基金



寄付は地域社会を支える第一歩

ごあいさつ

ちばのWA地域づくり基金は、2012年5月、多くの市民からの寄付により設立した市民立の公益財団法人です。人口減少、少子高齢化社会を迎える中、持続可能で豊かな地域社会を創造するためには市民が市民を支える「地域の自治」を再構築することが必要だと私たちは考えます。すでに地域では様々な問題を解決するために、市民による多様な取り組みが展開されています。私たちはそれらの取り組みを可視化し、有効につなぎ、必要な資金を届けることで本質的な課題解決のための地域内資源循環の仕組みをつくり、地域に根付かせ、だれもが安心して心豊かに暮らせる未来の実現を目指します。



理事長 関谷 昇

法人概要

法人名	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
代表者	理事長 関谷 昇 (千葉大学法政経学部教授)
所在地	〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12
TEL	043-270-4640
E-mail	info@chibanowafund.org
URL	http://chibanowafund.org
設立	2012年5月11日
公益認定	2013年4月1日（千葉県認定）
役員	評議員10名 監事2名 理事10名
事業内容	公益活動支援助成事業
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

沿革

2009年	一般財団法人ちばのWA！地域づくり基金設立準備会（代表・関谷昇）を立ち上げる
2011年	財団設立に必要な基本財産300万円の寄付募集活動を行う
2012年	171名25団体の方々からの寄付（300万円）により一般財団法人として登記 設立記念助成（100万円）実施
2013年	公益財団法人として認定 税額控除に係る証明取得 事業指定助成プログラム開始 冠基金第1号「生活クラブ虹の街エコ口福祉基金」設置助成実施 カンパチャリティキャンペーン実施
2014年	テーマ型「子どもの今と未来を支える基金」設置 ドネーションパーティ開催
2015年	県内外の事業者のCSR事例を紹介するCSRサミット開催 冠基金「東日本大震災被災者支援活動」設置助成実施
2016年	「松戸市における貧困により孤立する子どものセーフティネットづくりモデル事業」



あなたの思いを信頼出来るNPOにつなぎます。

※NPOとは、法人格の有無や種類を問わず、民間の立場で社会的なサービスの提供や、社会問題を解決するために活動する団体を指します。

事業内容

助成事業



意志ある寄付を受け入れ、地域社会の課題の解決に役立てるために、優れたNPOやプロジェクトに助成を行っています。

- 冠基金
- テーマ・地域型基金
- 事業指定プログラム

寄付文化創造事業



寄付をより身近に感じる取り組みや提案を行っています。

- 遺贈寄付促進
- 寄付付き商品企画
- 支援ベンダー・募金箱の設置
- チャリティイベント企画・実施

情報発信・ネットワーク事業



みんなで支えあい担う仕組みづくりの普及促進を行っています。

- 講師派遣
- 円卓会議開催
- セミナー開催
- 企業のCSR促進

調査研究事業



地域や社会の課題やインパクトを生み出す手法などについて調査、研究、発信を行っています。

- 社会的投資市場に関する研究
- 情報交換会・勉強会
- 地域課題の深掘り

実績（2017年3月現在）



- 寄付総額 33,318,286円
- 助成事業 15回公募 126件応募受付
64事業に総額18,233,030円を助成
- 委託事業 「松戸市における貧困により孤立する子どものセーフティネットづくりモデル事業」（日本財団より全国コミュニティ財団協会が助成を受け、全国8地域で実施）